

「各社、支援物資を輸送」

貨物チャーター便運航も

各国政府や航空会社などから、東日本大震災の被災者向け緊急支援物資の提供が進んでおり、各航空会社は物資輸送の協力を行っている。週末には、貨物チャーター便を運航する航空会社もあった。

アジアナ航空は19日、B747-400Fにより貨物チャーター便を運航した。韓国政府からの提供物資、水、毛布、布団など計116トンを輸送。20時10分に成田に到着した。韓国政府はこれに先立ち、救助隊

を派遣しており、被災地で救助活動を行っている。また仁川国際空港でも、航空会社、税関等と特別対策班

を構成し、日本発着のフライトに対する貨物面での優遇措置をとっている。

トルコ航空も19日に貨物チャーター便を運航。21時30分ごろ、救援活動用のジープ3台や、飲料水を中心とした支援物資など20トンを搭載したA330-2

00Fが到着した。定期旅客便で到着した救援隊とともに、支援物資は宮城県まで輸送されたという。

キャセイパシフィック航空は21日、同社の香港本社が緊急支援物資を提供。栃木県の救助災害対策本部向けに毛布3776枚（重量は約3ト）を輸送した。栃木県には、宮城県や福島県から多数の被災者が避難している。支援物資は同日朝に香港を出発した旅客便で成田空港まで航空輸送。成田空港から栃木県までの陸上輸送は平野ロジステイクスが担当した。同社は今後、被災地向けにタオルや歯ブラシなどの提供を予定するほか、今週中にウォルマート提供の緊急支援物資として、ドバイから発電機の輸送などを予定している。



キャセイパシフィック航空の支援物資を積んだ輸送車両